

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設	座間谷戸山公園
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	H21. 4. 1 ～ H27. 3. 31
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所東部センター）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

A

<判定理由>

今期の利用者数は前年度を下回ったが、年間通じては目標利用者数とほぼ同数であり、事業計画に基づいた多数のイベントを工夫して取り組んでいる。「やとやま講座」においては新たな内容を実施していることが月例のモニタリングでも確認できるため良好な管理運営状況であると判断できる。
また、里山林の保全活動をボランティア団体と協働して取り組んでいる状況が現場からも確認できるため、提案を上回る取り組みが実施されていることからA判定とした。

- A：提案を上回る取り組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取り組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取り組みを実施していない。また、提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月12日	12月3日	○	○	○	無	
11月	12月10日	12月27日	○	○	○	無	
12月	1月10日	2月28日	○	○	○	無	
1月	2月12日	3月6日	○	○	○	無	
2月	3月8日	3月29日	○	○	○	無	
3月	4月10日	5月23日	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取り組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	本公園の特徴である、里山の自然環境を守るため、県民や市民団体と協働や連携して、調査、保全活動を推進する。	<p>月例の運営会議を事務局として取りまとめ、市民団体と協働でイベントや生物モニタリング等を実施した。</p> <p>樹林の皆伐区の保育管理について、新たに大学の研究を誘致してデータ蓄積を強化した。</p> <p>また、公園主催行事である「里山保全隊」による里山林の保全活動は、下半期は月2回実施しており、計画以上の回数を実施した。この活動により里山林としての樹林地整備をより一層推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議(6回) 参加者92名 ・里山保全隊(11回) 参加者140名 ・花植えたい(12回) 参加者78名

	提案内容	実施状況
2	<p>木道等の施設、樹木等の安全のための点検、清掃、補修等を行い、来園者の安全確保に努めるとともに、防災・防犯のため、業者、警察、関係機関との連携を図る。</p>	<p>園内巡視は毎日行い、清掃や必要に応じて支障木の処理、施設補修を行なった。特に、園路周辺の高齢木や枯損木は、積極的な処理に努め迅速な対応を図った。</p> <p>座間市水道事業管理者の指導のもと、座間上下水道部と連携し、東口広場付近にある貯水槽の稼働点検研修を実施して緊急時の対応について公園職員の意識を高める活動などを実施した。</p>
3	<p>朝礼でのあいさつ唱和や所内会議を通じて、来園者への気持良い対応に努めるとともに、アンケート等を通して利用者ニーズの把握に努める。</p>	<p>毎日、朝礼でのあいさつ唱和を行ない、より良い接遇に努めるとともに、アンケートによる利用者満足度調査を1月に実施し、利用者ニーズの把握に努めた。</p>
4	<p>利用促進方策として、従来のイベントを継続するとともに、里山の自然や文化への探求心を深めるための新たなイベントを実施する。</p>	<p>運営会議市民団体と共催して「親子米作り隊」、「定例自然観察会」等を実施するとともに、冬季ならではの石窯ピザ作り教室を新たに実施した。</p> <p>また、本公園の一大イベントである「谷戸山公園まつり」を継続して行い多数の来園者を迎えることができた。</p> <p>なお、「やとやま講座」については新たな内容を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子米作り隊2回 参加者90名 ・定例自然観察会6回 参加者118名 ・石窯ピザ作り教室 参加者30名 ・谷戸山公園まつり 参加者6,000名 ・やとやま講座3回 参加者56名
5		

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		61,299	0	0	61,299		61,299
予算額	前年度	59,000	0	0	59,000	57,858	1,142
	上半期	29,350	0	0	29,350	27,005	2,345
	下半期	29,650	0	0	29,650	30,853	▲ 1,203
	今年度	59,000	0	0	59,000	59,000	0
	上半期	29,134	0	0	29,134	29,134	0
	下半期	29,866	0	0	29,866	29,866	0
下半期実績額	10月	3,833	0	0	3,833	4,468	▲ 635
	11月	4,509	0	0	4,509	5,269	▲ 760
	12月	7,103	0	0	7,103	7,294	▲ 191
	1月	5,318	0	0	5,318	4,295	1,023
	2月	4,121	0	0	4,121	4,319	▲ 198
	3月	4,982	0	0	4,982	6,721	▲ 1,739
	今年度 下半期合計	29,866	0	0	29,866	32,366	▲ 2,500
	前年度 下半期合計	29,650	0	0	29,650	30,853	▲ 1,203
	対前年度下半期比			③	0.7%	4.9%	
	参考	今年度 上半期合計	29,134	0	0	29,134	25,415
今年度 合計		59,000	0	0	59,000	57,781	1,219

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：300,000円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	672	ふれあい広場造成工事(315千円)、井戸ポンプ制御盤補修(357千円)
下半期	4,350	総合案内板改修工(1,579千円)、丸太ロープ柵補修(987千円) 里山体験館施設補修(787千円)、園内解説版、誘導標補修(997千円)
合計	5,022	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	36,255 人	38,219 人	▲ 5.1 %
11月	37,044 人	37,861 人	▲ 2.2 %
12月	22,758 人	25,377 人	▲ 10.3 %
1月	25,067 人	25,046 人	0.1 %
2月	24,704 人	26,179 人	▲ 5.6 %
3月	31,101 人	27,497 人	13.1 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	177,000 人	186,386 人	195,598 人	5.4 %	▲ 4.8 %
今年度下半期計	184,000 人	176,929 人	180,179 人	▲ 3.9 %	▲ 1.9 %
今年度合計	361,000 人	363,315 人	375,777 人	0.7 %	▲ 3.4 %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	○	寒さが厳しい日が続いたことが影響して、家族連れなどの来園者が減少したと思われる。
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数	1	0	2	0	3	6
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(2)

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数	4	1	4	1	0	10
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容	土の園路を残してほしい。 むやみに木を切らないでほしい。 どういった方針で樹林の管理しているのか。	手紙での要望質問であったため、手紙で回答。 幹線園路についてはバリアフリー対応として舗装している。 樹林に関しては里山林としての管理を行っている。
その他	ボーイスカウトの団体が園路いっぱい歩いてきた。マナーを守るよう注意していただきたい。	利用団体のスタッフとは事前に注意事項等説明していたが、今後も大規模なイベントに対しては更なる注意を図る。

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

年間通じての利用者数は目標人数とほぼ同じであるが、下半期の利用者数は気候の影響もあり目標人数、昨年度同期の利用者数よりともに下回っているが、事業計画に基づくイベントは例年どおり多数実施しており、利用者増に向けて努力していることが月例報告からも確認できる。

なお、今年度は特に樹林地の管理に重点を置き作業を進めているため、現状の樹林を保存することを希望する一部公園利用者からは質問等受けているが、「園内が明るくなった」などの声を多数いただいていることから、本公園の管理方針に基づいて着実に作業に取り組んでいることが確認できる。

また、今期に行った利用者満足度調査の結果においては、来園の満足度は95%の利用者から「大変満足」「満足」の意見をいただいております、「また公園に訪れたいか」の問いについては97%の利用者から再度訪れたいとの意見であることから、日常管理の良好な結果が評価につながっているものと思われる。